

オンラインシンポジウム

秋岡芳夫
AKIOKA YOSHIO

時松辰夫
TOKIMATSU TAISUO

(撮影:吉崎貴幸)

これからの地域のくらしと工芸

秋岡芳夫・時松辰夫の足跡と思想から学ぶ

「これからの地域のくらしと工芸」をテーマに、
秋岡芳夫先生の思想・教育の基本、「消費者から愛用者に」、「知恵あるくらし」、「モノづくりと人間らしさ」。
時松辰夫先生が地域で実践した「手のちから・木のちから」、「山村クラフト・地域の暮らし」などという大切なキーワードから、
自然豊かな地域における、くらし、工芸、手しごとなどについて情報交換を行います。
持続可能な社会や地域の在り方へのメッセージとなる思想をもう一度学ぶことを目的に開催します。
皆さまのご視聴をお待ちしております。

令和5年 **2月24日(金)** 14:00~16:00

共催 東北工業大学(地域のくらし共創デザイン研究所^{*1}/地域連携センター^{*2})/手しごとAKIU^{*3}
協力 洋野町/熊本県伝統工芸館/オケクラフトセンター 森林工芸館/グループ・モノモノ
アトリエときデザイン研究所/みやぎ地場産品開発流通研究会
後援 公益財団法人 仙台観光国際協会

開会挨拶 東北工業大学 地域のくらし共創デザイン研究所 所長 伊藤 美由紀

話題提供 ①秋岡・時松・第三生産技術研究室の思想と実践活動
東北工業大学 名誉教授 舩岡 和夫氏 / 特命教授 菊地 良覺

②秋保の活動紹介
手しごとAKIU 代表 熊野 彰

リレートーク(オンライン)とディスカッション

テーマ「秋岡先生、時松先生に学んだこと、現状と今後」

リレートーク

中家 正一氏 (洋野町・大野木工)	和田 薫氏 (置戸町・オケクラフト)
坂本 尚文氏 (熊本県伝統工芸館)	菅村 大全氏 (グループモノ・モノ 主宰)
相良 雅子氏 (湯布院・アトリエときデザイン研究所)	秋月 俊五氏 (元本田技術研究所、東北工業大学OB)
早坂 智博 (手しごとAKIU)	菊地 良覺 (東北工業大学 特命教授)

ディスカッション

閉会挨拶 手しごとAKIU 代表 熊野 彰



*1 地域のくらし共創デザイン研究所 本研究所は、子どもの健やかな成長、高齢者の生きがいのある生活、障害のある人の自律した生活を地域や社会全体で連携し支援することを目指し、これまで実践してきた団体や地域等と共に、学生参加型による自律的で持続的なくらしやコミュニティを創り出す実践的活動と研究を行います。

*2 地域連携センター 本学がこれまで培ってきた教育研究資源を積極的に活用しながら、地域と連携協働して、地域振興、産業振興等の実践的活動を支援し、地域の課題解決や活力創出に貢献する事業を展開しています。

*3 手しごとAKIU 多種多様なジャンルの「つくり手」がいて、「つなぎ手」がいる異業種の集まり。2011年(H23)2月、秋保町で「手しごと」を生業とする工芸家や作家の「つくり手」、農業に携わる「農家」、それらを加工・販売する店舗が連携し、地域内外でイベント・展示・販売活動などを通じて、秋保町のモノづくりや観光の発展、および地域活性化を図ることを目的に設立されました。本シンポジウムは、昨年まで実施したシンポジウム「くらしと工芸と秋保vol.1.vol.2」後継企画です。手しごとAKIUでは、①持続可能な観光産業の確立を目指し、消費拡大・交流人口拡大を図り、「工芸のまち・秋保」のブランディング ②観光地(工芸産地)としての魅力を高め、観光・旅行需要を創出していく「観光とものづくり、そしてまちづくり」 ③「手しごと」を通じて地域住民の生活水準や満足度や郷土愛を高めることにもつながる「地域住民との密接な関係づくり」 ④秋岡芳夫が提唱する「消費者から愛用者へ」を意識し、「モノを長く大事に使う」[北欧の人々のサステナブルな暮らしを学び、地域のイメージアップにもつながる「SDGsの実践」] などを目指しております。

シンポジウム参加申し込み

下記申し込みフォームに必要事項を入力の上、お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/bUtZeXg2VJ>



時松辰夫追悼記念展示会

秋岡芳夫・時松辰夫 次世代に繋げる想いと技

2023年

2月24日(金)～2月28日(火)

11:00～17:00(最終日は16:00まで) 25日(土)及び26日(日)は販売いたします

共催 東北工業大学(地域の暮らし共創デザイン研究所/地域連携センター)/手しごとAKIU
協力 みやぎ地場産品開発流通研究会

2021年1月にお亡くなりになった時松辰夫先生(本学客員研究員)が実践された、洋野町(大野木工)、置戸町(オケクラフト)、湯布院(アトリエときデザイン研究所)、登米市津山町(杉矢羽木工)などでの活動を紹介します。また、時松先生の功績を振り返るにあたり、活動の代表で東北工業大学工業意匠学科長であった秋岡芳夫先生の思想・教育の基本、「消費者から愛用者に」などの大切なキーワードから、現代の課題である持続可能な社会や地域の在り方へのメッセージとなる思想をもう一度学ぶことを目的に開催するものです。



【展示内容】

秋岡先生、時松先生、東北工業大学第三生産技術研究室が関わった岩手県洋野町、北海道置戸町、大分県湯布院、宮城県登米市津山町・仙台市秋保などの実践的活動をパネルや製品展示を通じて紹介します。

【主な出展地域、施設と展示品】

- 岩手県洋野町(大野木工)
- 北海道置戸町(オケクラフト)
- アトリエときデザイン研究所(大分県湯布院)
- 熊本県伝統工芸館
- みやぎ地場産品開発流通研究会
津山町(杉矢羽木工・もくもくハウス)、手しごとAKIU 他
- 東北工業大学 他

宮城を代表する工芸産地が連携
みやぎ地場産品開発流通研究会 提案展

工芸品を暮らしの中に

2023年

3月3日(金)～3月7日(火)

11:00～17:00(最終日は16:00まで) 4日(土)及び5日(日)は販売いたします

共催 みやぎ地場産品開発流通研究会
(雄勝硯生産販売(協)/津山木工芸品事業(協)/岩出山竹細工/手しごとAKIU)
東北工業大学(地域の暮らしの共創デザイン研究所/地域連携センター)
協力 東北工業大学 技術支援センター

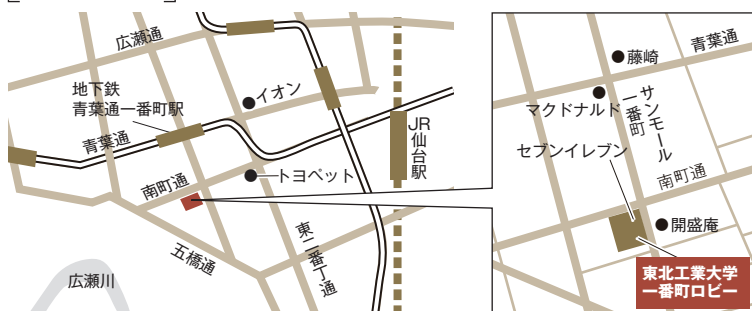
宮城を代表する工芸産地の石巻市雄勝、登米市津山、大崎市岩出山、仙台市秋保の工芸品を紹介します。硯やスレート、木、しの竹、漆、陶器、ガラスなどの地域資源を活用して、「手しごと」や「暮らしと工芸」というキーワードから、「いいものを長く使う」、「ものを大事にする暮らし」など、暮らしによりそうSDGsの一つの形として、地域の工芸を自分のライフスタイルに取り入れることの提案です。併せて、東北工業大学で支援を行った、大野木工やオケクラフトなどからの出展も行います。身近な工芸品をぜひ暮らしに取り入れてみませんか。



【主な展示品】

雄勝(硯、石皿など)、津山(杉矢羽や木工品)、岩出山(しの竹細工)、秋保(仙台筆筒、漆製品、木工品、ガラス製品、陶器、石加工品 他)、大野木工、オケクラフト、熊本の工芸品 他

【会場】 東北工業大学 一番町ロビー 1Fギャラリー



〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル

【お問い合わせ】

 東北工業大学
TOHOKU INSTITUTE
OF TECHNOLOGY

東北工業大学 地域連携センター(担当/佐藤・菅原)

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1(1号館1階)

TEL. 022-305-3801 FAX. 022-305-3808

E-mail. rc-center@tohtech.ac.jp

http://www.rc-center.tohtech.ac.jp/